

ビジネスの発展に貢献する中小規模事業所向けテレフォニーシステム「MX300IP」を発売 ～IP化によるワークスタイルの改革にもスムーズに対応～



株式会社日立コミュニケーションテクノロジー(取締役社長:青木 榮司)は、ビジネスコミュニケーションの使い慣れたサービス機能を備え、内線VoIPに対応した中小規模事業所向けテレフォニーシステム「MX300IP」を製品化し9月1日から発売します。

「MX300IP」は、2000年7月発売以来ご好評を頂いている「MX100/200IP」の後継機として、豊富なサービス機能や使い勝手の良さを継承しつつ、IP化によるワークスタイルの改革もスムーズに実現できる新しいコミュニケーションツールです。

「MX300IP」には、これまでに培ってきたテレフォニーシステムのノウハウを活かし、ビジネスに役立つ多彩な機能を搭載しています。例えば、内線グループごとに通話録音が可能で、その録音内容を他の内線グループへ転送もでき、さらに部署ごとで留守録音や転送などの各種サービスを必要に応じ設定できるよう内蔵音声録音機能を強化しました。

また、多機能電話機は、漢字表示のできる大型ディスプレイに加え、携帯電話と同じような操作で電話帳の検索・登録や電話機の設定ができる十字キーを搭載したものに一新しました。

IPテレフォニーの要求は、大規模事業所だけでなく、中小規模事業所においても急速に高まってきています。「MX300IP」はその要求に応えるべく、IPテレフォニーを実現する内線VoIPにも対応しました。内線端末としてIP多機能電話機を収容でき、電話配線不要によるコスト削減や、IPテレフォニーによる業務効率の向上が図れます。既存設備を利用しながら、部分的にIPテレフォニーを導入する場合にも最適です。

現在VoIP化の予定がなくても、「MX300IP」を導入すれば、既存の設備・資産を有効に活用し、将来のVoIP化も視野に入れることができ、ワークスタイルに合わせた柔軟なテレフォニーシステムの構築が可能となります。(内線VoIP対応は2006年1月予定)

株式会社日立コミュニケーションテクノロジーでは、今回発売する「MX300IP」の上位機種として、IP-PBX「CX8000IP」「Com First HX-IP」、IPテレフォニーサーバ「IPTOWER-SP」を製品化しており、多機能電話機や構内PHS用アンテナ等の共用が可能です。「MX300IP」を導入すれば、電話機等の資産の有効活用が図れ、設備投資を抑えつつ、企業の成長、業務形態の変革に合わせテレフォニーシステムもマイグレーションできます。

本製品の主な特長

1. 内蔵音声録音システム

内線グループごとにメールボックスを設け、通話内容あるいは自分の声を電話機からの簡単な操作で録音することができます。さらに録音した内容を別のグループに転送することも可能です。社内の電話対応業務を軽減し、相手の用件を迅速に伝えることができます。

また、部署のダイヤルイン番号ごとに留守録音、応答メッセージ、転送などのサービスを設定することができます。不在時には、お客様からの着信を出先の携帯電話などへ転送することもでき、ビジネスチャンスを逃がすことはありません。

2. 大型ディスプレイ付き多機能電話機

多機能電話機は、半角20文字×6行の大型ディスプレイを搭載しており、以下の特長があります。

- ・電話帳500宛先(3番号/宛先)
- ・発信履歴/着信履歴各30件
- ・仮名漢字変換による電話帳への漢字入力
- ・携帯電話感覚で操作できる十字キー
- ・一定時間操作がない状態が続くとランプ、バックライトを消灯する省電力モード



【多機能電話機】



【ディスプレイ表示例】

3. 内線VoIP対応

IP多機能電話機を内線電話機として収容することができます。電話機本体に内線番号とIPアドレスを登録すれば、レイアウト変更があっても個人ごとの内線番号や短縮ダイヤルがそのまま使うことが可能です。また、IP多機能電話機とパソコンとを連携することで、パソコンからの操作で発信することもできます。パソコンで管理している電話帳を利用したり、Webカメラを使用したTV電話、各種アプリケーションの共有等利便性に富んだコミュニケーション環境の構築が実現できます。(2006年1月対応予定)

4. 簡易専用線

電話サービス会社が提供するIP電話サービスなどの回線を利用し、事業所間の内線発着信ができます。専用線の回線契約しなくても、専用線発信と同様の発信操作で、ダイヤルされた別事業所の内線電話機を直接呼び出すことが可能で、事業所間の回線費用を削減できます。着信側内線が多機能電話機やPHSのような発信者番号表示機能を備えた端末の場合は、発信者番号を表示することも可能です。(特許出願中)

5. 19インチラック搭載

設置方法は、床設置のほかに19インチラックにも取り付け可能です。スイッチ、ルータなどのIP製品とともに収容できるので、設置スペースの有効利用が図れます。

販売計画

年間5,000台

価格および出荷時期

機 種	システム価格	出荷時期
日立 テレフォニーシステム 「MX300IP」	価格: 315万円～ (税抜価格: 300万円～) (アナログ局線 10回線 INS64局線 2回線 アナログ内線 4台 多機能電話機 20台 PHS接続装置 6台 PHS端末 20台)	2005年 9月30日

* 上記価格には、SE費、工事・保守費は含みません。

他社商品名称に関する表示

その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【製品についての問い合わせ先】

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー

企業ネットワーク事業部 事業企画部 [担当: 酒井]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話 03-6404-0522(ダイヤルイン)

【報道についての問い合わせ先】

株式会社 日立コミュニケーションテクノロジー

コーポレートサポート室 ビジネスサポート部 [担当: 奥井]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話 03-6404-1232(ダイヤルイン)

【ホームページURL】

<http://www.hitachi-com.co.jp/>

【問合せ先メールアドレス】

web-com@hitachi-com.co.jp

以 上

【別紙】

< 日立テレフォニーシステム「MX300IP」の主な仕様 >

項目		仕様		
		基本キャビネット	基本キャビネット + 増設キャビネット	基本キャビネット + 増設キャビネット×2
交換方式	制御方式	蓄積プログラム制御方式		
	通話路方式	時分割 T1 段 μ -Law PCM 方式		
最大回線容量 (注 1)	アナログ局線	64	128	192
	INS ネット 64	32	64	96
	INS ネット 1500	4	8	12
	OD 専用線	16	32	48
	多機能電話機	32	96	144
	ハンドルコードレス 多機能電話機	8		
	単独電話機	32	128	192
	IP 多機能電話機	(注 2)		
	ISDN 内線(S 点)	32	64	96
	事業所用 PHS 接続装置(親機)	16	32	48
事業所用 PHS 端末(子機)	192 (注 3)			
呼量		6HCS		
内線線路条件	単独電話機	450 以下		
	多機能電話機 (注 4)	単独: 45 以下 マルチ: 15 以下		
電源装置	入力電圧	AC 100V \pm 10V (50/60Hz)		
環境条件		温度: 0 ~ 40 湿度: 15 ~ 85%		
外形寸法 W x D x H (mm) (注 5)		約 400 x 220 x 350	約 400 x 220 x 700	約 400 x 220 x 1050
質量 (kg) (注 6)		約 10	約 20	約 30

(注 1) 組合せ及びオプションの実装により最大数は変わります。

(注 2) IP 多機能電話機収容は 2006 年 1 月予定です

(注 3) ラインキー付き PHS および卓上デジタルコードレスホンの最大数は 128 台です。

(注 4) 停電直通電話機を除きます。

(注 5) バッテリーキャビネットの高さは含みません。

(注 6) バッテリーキャビネット及びバッテリーの重量は含みません。

 このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
 発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
